

正負の数の加減

加法

- ① 同符号の数の和は、絶対値の和に共通の符号をつける。
 $(+5) + (+8) = +13$ $(-3) + (-6) = -9$
- ② 異符号の数の和は、絶対値の差に絶対値の大きい方の符号をつける。
 $(+12) + (-7) = +5$ $(-8) + (+2) = -6$
- ③ 絶対値が等しい異符号の数の和は、0である。
 $(+6) + (-6) = 0$

【1】 次の計算をなさい。

- ① $(+6) + (+2)$ ② $(-3) + (-6)$
- ③ $(+23) + (+12)$ ④ $(-15) + (-10)$
- ⑤ $(-8) + (-16)$ ⑥ $0 + (-7)$

【2】 次の計算をなさい。

- ① $(+9) + (-5)$ ② $(+6) + (-10)$
- ③ $(-12) + (+5)$ ④ $(-3) + (+8)$
- ⑤ $(+3) + (-11)$ ⑥ $(+12) + (-12)$

【3】 次の計算をなさい。

- ① $(-12) + (-6)$ ② $(+5) + (-12)$
- ③ $(+7) + (-13)$ ④ $(+8) + (+7)$
- ⑤ $(+19) + (-23)$ ⑥ $(+15) + (-12)$

正負の数の加減

【4】 次の _____ にあてはまる語句を書き入れなさい。

- ① 同符号の数の和は、絶対値の _____ に、 _____ の符号をつける。
② 異符号の数の和は、絶対値の _____ に、 _____ が _____ の符号をつける。

【5】 次の計算をしなさい。

- ① $(+12)+(-17)$ ② $(-14)+(-18)$
③ $(-18)+(+30)$ ④ $0+(-18)$
⑤ $(+19)+(+12)$ ⑥ $(-15)+(+6)$
⑦ $(-15)+(-13)$ ⑧ $(+8)+(-17)$

【6】 次の計算をしなさい。

- ① $(-3.5)+(-2.5)$ ② $(+2.5)+(-1.2)$
③ $(+7)+(-2.3)$ ④ $(+2.8)+(-2.8)$
⑤ $\left(+\frac{1}{6}\right)+\left(+\frac{1}{3}\right)$ ⑥ $\left(-\frac{2}{3}\right)+\left(-\frac{1}{4}\right)$
⑦ $\left(+\frac{1}{2}\right)+\left(-\frac{2}{3}\right)$ ⑧ $\left(-\frac{5}{8}\right)+\left(+\frac{1}{6}\right)$
⑨ $\left(+\frac{3}{8}\right)+\left(-\frac{2}{3}\right)$ ⑩ $\left(-\frac{2}{6}\right)+\left(-\frac{3}{4}\right)$

正負の数の加減

3数以上の加法

- ① 加法の交換法則(並んでいる順序を換えることができる)

$$a + b = b + a$$

- ② 加法の結合法則(計算の順序を換えることができる)

$$(a + b) + c = a + (b + c)$$

- ③ 多くの数を加えるときは正の数どうし、負の数どうしの和をそれぞれまとめて加え、最後に異符号の数の和を求める。

$$(+6) + (-8) + (-5) + (+9) + (-7)$$

$$= (+6) + (+9) + (-8) + (-5) + (-7) \quad \cdots\cdots\text{加法の交換法則}$$

$$= \{(+6) + (+9)\} + \{(-8) + (-5) + (-7)\} \quad \cdots\cdots\text{加法の結合法則}$$

$$= (+15) + (-20) = -5$$

【7】 次の計算をしなさい。

① $(-2) + (+3) + (-4) + (+2)$

② $(+5) + (-7) + (+8) + (-4)$

③ $(+5) + (-8) + (+7) + (-3)$

④ $(-12) + (+6) + (-9) + (+5)$

⑤ $(-5) + (-8) + (+9) + (-3)$

⑥ $(-8) + (+10) + (-4) + (-5)$

⑦ $(-1.5) + (+2.5) + (-3.5)$

⑧ $(-1.5) + (+1.8) + (-1.9) + (+1.2)$

正負の数の加減

減法

減法は()の中の符号をかえ、加法だけの式になおして計算する。

$$(+5) - (+8) = (+5) + (-8) = -3$$

$$(-8) - (-6) = (-8) + (+6) = -2$$

$$(-9) - (+5) - (-6) = (-9) + (-5) + (+6) = (-14) + (+6) = -8$$

【8】 次の計算をしなさい。

① $(-4) - (+7)$

② $(+2) - (+8)$

③ $(-5) - (-8)$

④ $(+6) - (-2)$

⑤ $0 - (-15)$

⑥ $(+14) - (+14)$

⑦ $(-18) - (+17) - (-12)$

⑧ $(-23) - (-17) - (+5)$

【9】 次の計算をしなさい。

① $(-3.5) - (-2.5)$

② $(+2.5) - (+1.2)$

③ $(+1.7) - (-2.3)$

④ $(-2.8) - (+1.8) - (-3.2)$

⑤ $\left(+\frac{1}{2}\right) - \left(+\frac{1}{3}\right)$

⑥ $\left(-\frac{2}{3}\right) - \left(-\frac{1}{4}\right)$

⑦ $\left(+\frac{1}{3}\right) - \left(+\frac{3}{4}\right) - \left(-\frac{2}{3}\right)$

⑧ $\left(-\frac{3}{8}\right) - \left(-\frac{1}{6}\right) - \left(+\frac{1}{2}\right)$

正負の数の加減

加法・減法の混合

加法と減法の混合計算は、減法の()の中の符号をかえ、加法だけの式になおして計算する。

$$(-5) + (-7) - (-9) = (-5) + (-7) + (+9) = (-12) + (+9) = -3$$

$$(+8) - (-6) + (-5) = (+8) + (+6) + (-5) = (+14) + (-5) = 9$$

【10】 次の計算をしなさい。

① $(+3) - (-7) + (-9)$

② $(-10) - (+2) + (-6) - (-8)$

③ $(+13) + (-5) - (-9) - (+12)$

④ $(-3) - (-14) - (+7) + (-5)$

加法だけの式では、加法の+()は省略することができる。

$$(-3) + (-6) - (-5) = -3 - 6 + 5 = -4$$

$$(+9) - (+2) + (-10) = 9 - 2 - 10 = -3$$

【11】 次の式を、加法だけの+()を省略した式になおして計算をしなさい。

① $(+5) + (-6) - (-9)$

② $(-8) + (+3) - (+5) - (-2)$

③ $(+15) - (-9) + (-8) - (+7)$

④ $(-12) - (+4) - (-9) + (-1)$

⑤ $9 - (-3) + (-5) - 4$

⑥ $(-6) + (-3) - (-8) - 2$

⑦ $18 - (-32) + (-36) - 14$

⑧ $(-0.4) - (-0.8) + (-0.5)$

正負の数の加減

【12】 次の計算をしなさい。

① $5 - 6 + 8$

② $-6 + 14 - 7$

③ $-8 - 6 + 4$

④ $9 - 7 - 8$

⑤ $7 - 4 - 2 + 9$

⑥ $-3 + 5 - 13 + 7$

【13】 次の計算をしなさい。

① $6 - (-4)$

② $-7 - (+5)$

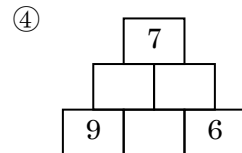
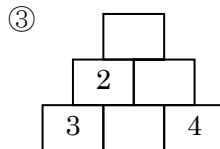
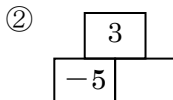
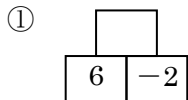
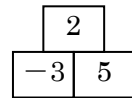
③ $8 + (-7) - (-2)$

④ $(-9) + 5 - 12$

⑤ $3 - (-8) - 7 + 9$

⑥ $-14 + 23 + (-11) - (-17)$

【14】 数を書き入れたカードをピラミッド形にならべ、隣り合う 2 つの数の和をすぐ上のカードに書き入れていきます。例えば右の図では $(-3) + 5 = 2$ となります。下の図の空欄にあてはまる数を、それぞれ書き入れなさい。



【15】 次の図の空欄に数をあてはめて、縦、横、斜めの合計がすべて等しくなるようにしなさい。

①

		-2
1	0	5

②

0	1		-3
		5	
	4		-19
-13	-2		9